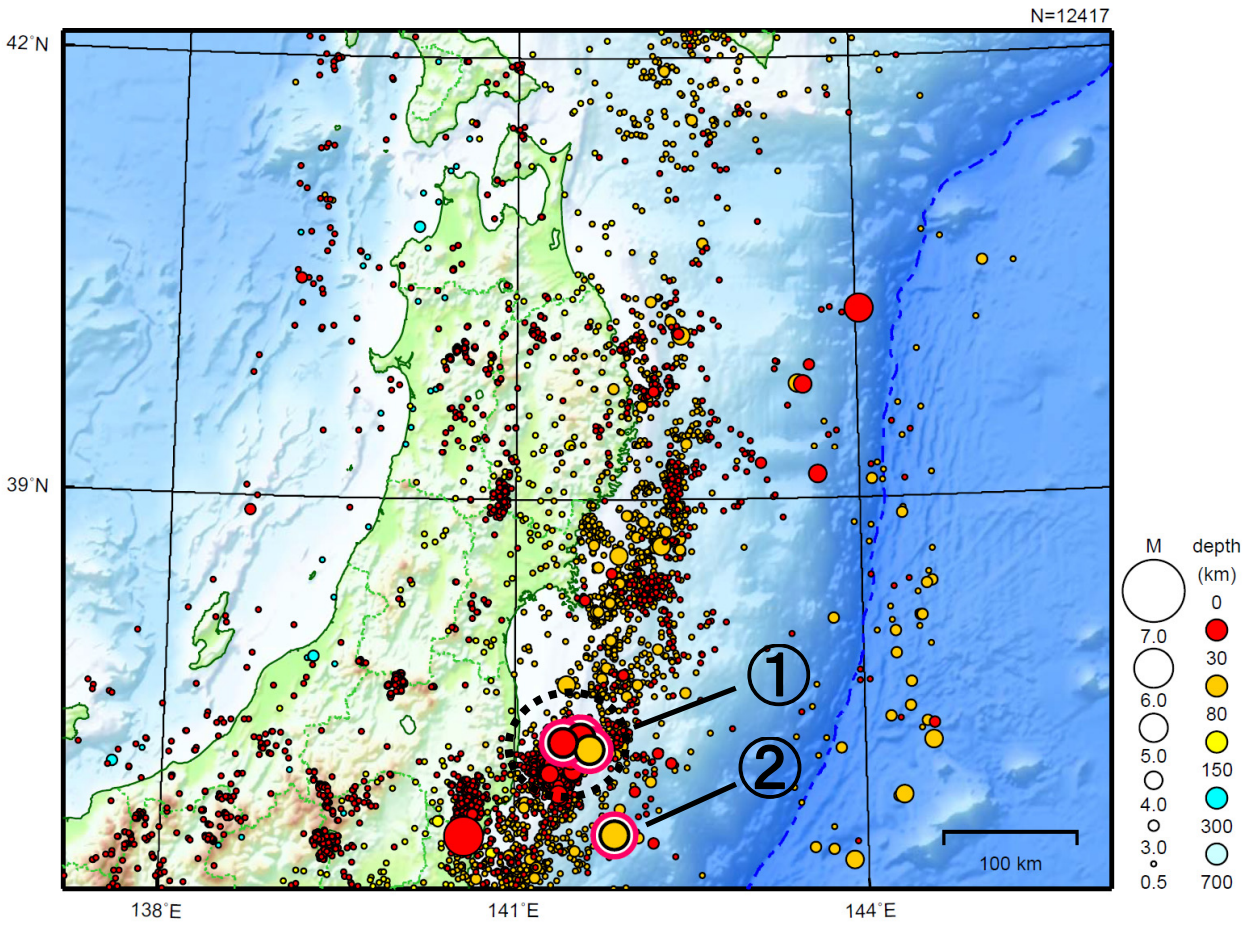
東北地方

2016/12/01 00:00 ~ 2016/12/31 24:00



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOPO30、及び米国国立地球物理データセンターの ETOPO2v2 を使用

① 11 月 22 日に福島県沖で発生した M7.4 の地震の活動域で M5.0 以上の地震が３回発生した。

② 12 月 24 日に福島県沖で M5.4 の地震（最大震度３）が発生した。

（上記期間外）

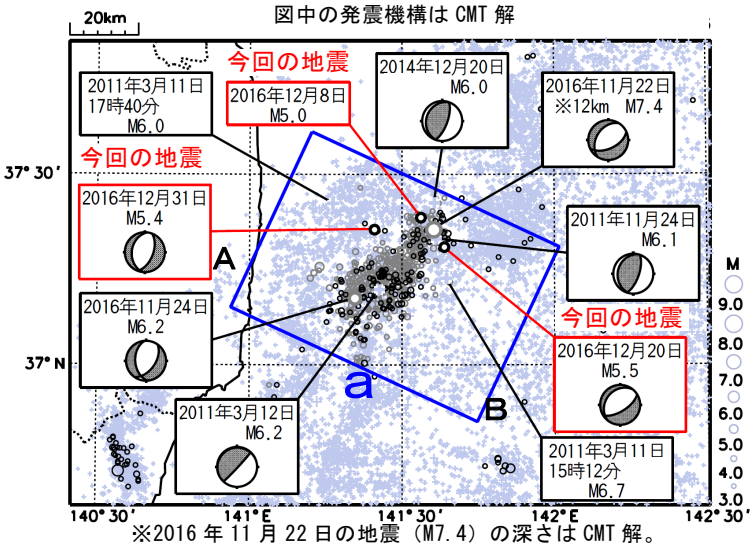
１月５日に福島県沖で M5.3 と M5.6 の地震（いずれも最大震度４）が発生した。

［上述の地震は M6.0 以上または最大震度４以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度３以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度３以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。］

気象庁・文部科学省

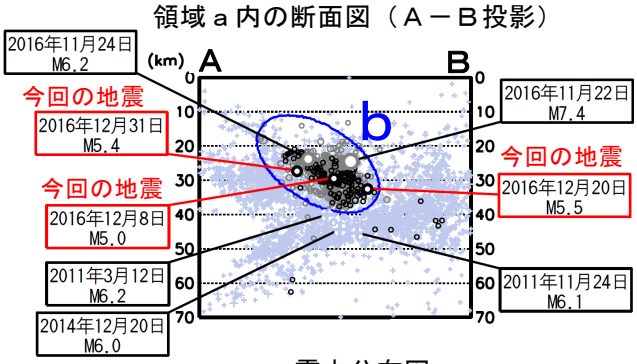
12 月８日、20 日、31 日　福島県沖の地震

震央分布図
（1997 年 10 月１日～2016 年 12 月 31 日、
深さ０～70km、M≧3.0）
2016 年 11 月 21 日以前に発生した地震を＋、
11 月 22 日以降に発生した地震を薄い○、
12 月以降に発生した地震を濃い●で表示
図中の発震機構は CMT 解

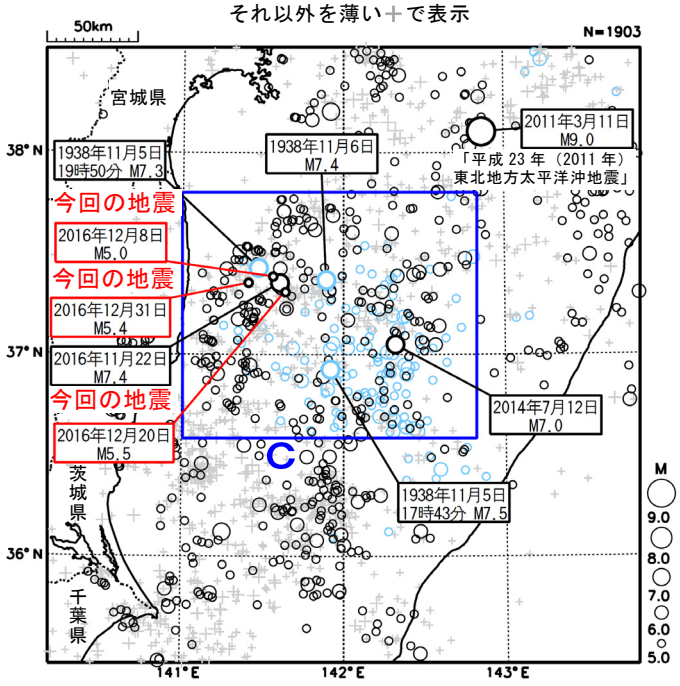


※2016 年 11 月 22 日の地震（M7.4）の深さは CMT 解。
また、この地震の発生直後には、未処理の地震が存在している。

領域ａ内の断面図（Ａ－Ｂ投影）



震央分布図
（1923 年１月１日～2016 年 12 月 31 日、
深さ０～150km、M≧5.0）
1938 年 11 月１日～12 月 31 日に発生した地震を○、
東北地方太平洋沖地震発生以降に発生した地震を濃い●、
それ以外を薄い＋で表示

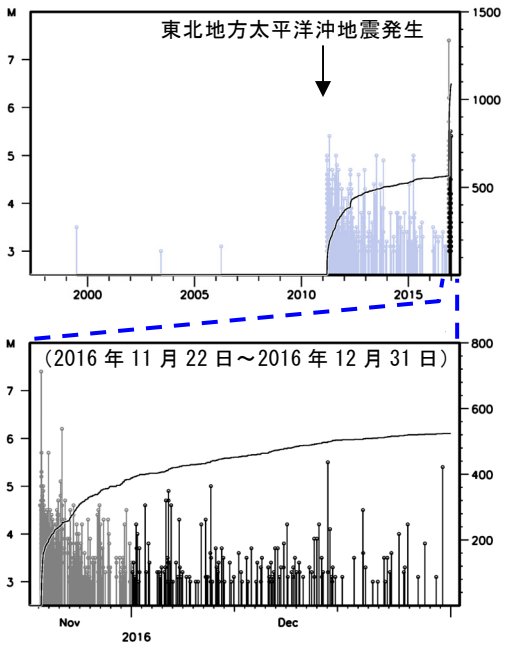


2016 年 12 月８日 17 時15分に福島県沖でM5.0 の地震（最大震度３）が発生した。また 20 日 01 時 41 分に、この地震の震源付近で M5.5 の地震（最大震度３）が発生したほか、31 日 05 時 08 分に M5.4 の地震（最大震度４）が発生した。これらの地震の震源付近（領域ｂ）では、11 月 22 日 05 時 59 分に M7.4 の地震が発生後、地震活動が活発となっており、12 月 31 日までに M5.0 以上の地震が 13 回発生している。これらの地震は、陸のプレートの地殻内で発生した。

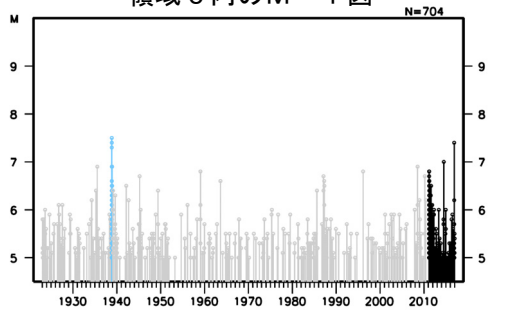
1997 年 10 月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域ｂ）では、東北地方太平洋沖地震が発生して以降、活発な地震活動が見られ、M5.0 以上の地震が 18 回発生した。

1923 年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域ｃ）では、1938 年 11 月５日に M7.5 の地震が発生して以降、地震活動が活発となり、同年 11 月 30 日までに M6.0 以上の地震が 25 回発生している。

領域ｂ内のＭ－Ｔ図及び回数積算図



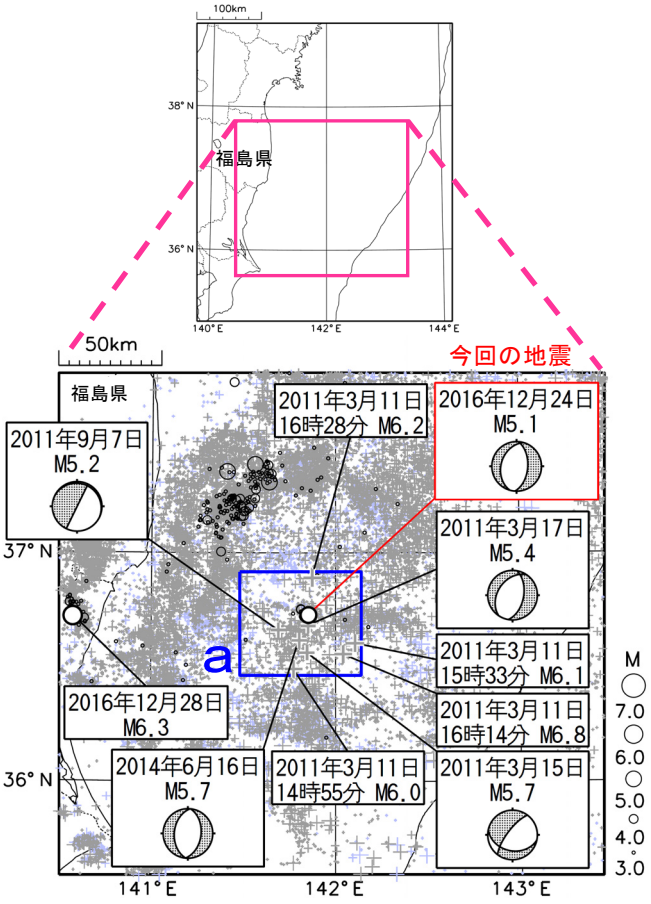
領域ｃ内のＭ－Ｔ図



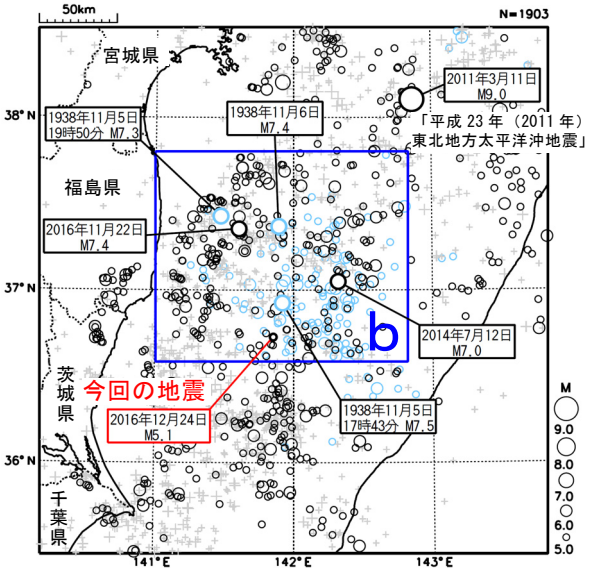
気象庁作成

12 月 24 日　福島県沖の地震

震央分布図
（1997 年 10 月 1 日～2016 年 12 月 31 日、
深さ 0～100km、M≧3.0）
東北地方太平洋沖地震発生以前に発生した地震を＋、
東北地方太平洋沖地震発生以降に発生した地震を薄い＋、
2016 年 12 月の地震を濃い○で表示。
図中の発震機構は CMT 解。



震央分布図
（1923 年 1 月 1 日～2016 年 12 月 31 日、
深さ 0～150km、M≧5.0）
1938 年 11 月 1 日～12 月 31 日に発生した地震を○、
東北地方太平洋沖地震発生以降に発生した地震を濃い○、
それ以外を薄い＋で表示

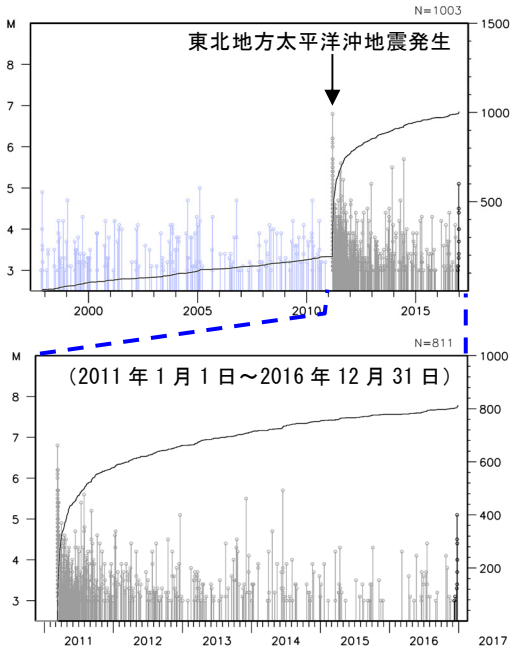


2016 年 12 月 24 日 02 時25分に福島県沖の深さ 31km（CMT 解による）でM5.1 の地震（最大震度３）が発生した。この地震の発震機構（CMT 解）は、東西方向に張力軸を持つ正断層型である。

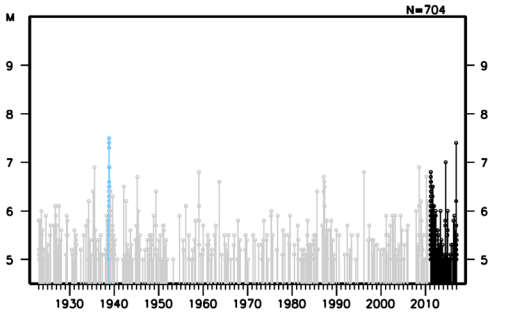
1997 年 10 月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近（領域ａ）では、東北地方太平洋沖地震の発生直後に M6.0 以上の地震が４回発生するなど地震活動が活発となったが、地震活動は徐々に低下しており、2014 年の７月以降は M5.0 以上の地震は発生していなかった。

1923 年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域ｂ）では、1938 年 11 月 5 日に M7.5 の地震が発生した。この地震の発生以降、地震活動が活発となり、同年 11 月 30 日までに M6.0 以上の地震が 25 回発生している。

領域ａ内のＭ－Ｔ図及び回数積算図



領域ｂ内のＭ－Ｔ図



気象庁作成